



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月8日

上場会社名 株式会社ティーガイア 上場取引所 東
 コード番号 3738 URL <http://www.t-gaia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 年史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 俣野 通宏 TEL 03-6409-1010
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	256,355	△10.0	5,989	△8.1	6,014	△7.7	4,003	5.1
28年3月期第2四半期	284,994	△0.8	6,514	11.0	6,513	11.6	3,807	19.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 4,162百万円 (8.3%) 28年3月期第2四半期 3,844百万円 (20.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	70.75	—
28年3月期第2四半期	55.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	69,438	25,795	36.9
28年3月期	85,930	36,018	41.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 25,622百万円 28年3月期 35,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.50	—	22.50	43.00
29年3月期	—	26.00			
29年3月期(予想)			—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	616,000	△0.7	15,000	△4.3	14,950	△4.3	9,700	2.1	172.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	79,074,000株	28年3月期	79,074,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	23,345,757株	28年3月期	10,300,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	56,583,680株	28年3月期2Q	68,773,654株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成28年11月15日（火）に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

当日使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4~9月)におけるわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融緩和等の効果もあり、雇用・所得環境については緩やかな改善傾向にあります。中国の経済成長の減速傾向をはじめ新興国や資源国の景気減速並びに英国の欧州連合(EU)からの離脱問題等から、為替や株式市場は依然として不安定な動向を示しており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場では、総務省による「スマートフォン料金負担の軽減及び端末販売の適正化に関する取組方針」の影響等により、過度な販売競争は沈静化し、販売台数は減少いたしました。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は204万台と前年同期を下回る中、スマートフォンの販売比率は約8割まで上昇いたしました。

全社の当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高2,563億55百万円(前年同期比10.0%減)、営業利益59億89百万円(同8.1%減)、経常利益60億14百万円(同7.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益40億3百万円(同5.1%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は次のとおりであります。

(モバイル事業)

市場環境の変化を背景とする端末の実質販売価格上昇等に伴い、販売台数は減少いたしました。

一方、移転・大型化等の店舗拡充を実施し、販売スタッフの教育・研修を推進することにより、CS向上に取り組みました。また、大型店舗を新規出店するとともに、MVNO(仮想移動体通信事業者)ショップも新設いたしました。更に、お客様のスマートライフ充実に向け、光回線やタブレット等の販売強化、お客様のニーズやご利用状況に即した各種サービスの拡販、アクセサリ等のスマートフォン関連商材販売において、引き続き付加価値提案力を高め、収益性向上を図りました。

この結果、売上高は2,137億40百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益は44億65百万円(同0.6%増)となりました。

(ソリューション事業)

法人向けモバイルソリューションにおいては、端末の大口需要は前年同期に比べ少なく、販売台数は減少いたしました。企業へのスマートデバイス導入やご利用時のサポート業務の提案強化に努めた結果、収益は底堅く推移いたしました。また、業界対応型も含めて、各種ソリューションサービスの拡充を図っております。

固定回線系商材においては、フレッツが卸売りモデルへ移行され、ビジネスモデルが転換期を迎えたことにより、前年同期比大幅減収となりましたが、独自ブランドの光アクセスサービス「TG光」の販売やパートナー企業への再卸販売強化、サポート体制拡充等の将来的な投資も実施し、着実に販売網を拡大しております。

この結果、売上高は104億16百万円(前年同期比23.0%減)、営業利益は8億29百万円(同39.8%減)となりました。

(決済サービス事業他)

国内決済事業においては、券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成の変化が続いており、売上高は減少いたしました。ギフトカードの販売は好調に推移いたしました。

また、海外事業においては、中国での携帯電話販売は伸び悩みましたが、シンガポールでの決済サービス事業は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は321億98百万円(前年同期比13.1%減)、営業利益は6億94百万円(同0.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ163億9百万円減少し、559億67百万円となりました。これは主に売掛金が104億44百万円、商品が30億41百万円、未収入金が10億42百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円減少し、134億70百万円となりました。これは主にのれんが3億31百万円、ソフトウェアが58百万円減少、投資有価証券が2億31百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ164億91百万円減少し、694億38百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ30億27百万円減少し、299億27百万円となりました。これは主に買掛金が12億51百万円、未払金が22億27百万円が減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ32億40百万円減少し、137億15百万円となりました。これは主に長期借入金が31億89百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ62億68百万円減少し、436億43百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ102億23百万円減少し、257億95百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益40億3百万円、配当による利益剰余金の減少15億47百万円、自己株式の取得127億71百万円による純資産の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

当第2四半期連結累計期間業績の、平成28年5月13日に公表いたしました通期業績予想に対する進捗率は、売上高41.6%、営業利益39.9%、経常利益40.2%、親会社株主に帰属する四半期純利益41.3%で推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,314	1,420
売掛金	19,012	8,568
商品	35,942	32,901
貯蔵品	65	41
未収入金	11,438	10,395
その他	2,507	2,641
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	72,276	55,967
固定資産		
有形固定資産	3,212	3,047
無形固定資産		
のれん	2,510	2,179
その他	1,168	1,244
無形固定資産合計	3,678	3,423
投資その他の資産		
敷金	4,111	4,172
その他	2,655	2,831
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	6,762	6,999
固定資産合計	13,653	13,470
資産合計	85,930	69,438
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,803	6,552
短期借入金	1,002	3,346
1年内返済予定の長期借入金	8,128	7,253
未払金	10,523	8,296
未払法人税等	3,116	2,134
賞与引当金	1,696	1,726
短期解約損失引当金	179	128
その他	505	490
流動負債合計	32,955	29,927
固定負債		
長期借入金	14,747	11,558
退職給付に係る負債	384	378
資産除去債務	1,308	1,324
その他	515	454
固定負債合計	16,956	13,715
負債合計	49,911	43,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,154	3,154
資本剰余金	5,640	5,640
利益剰余金	35,534	37,990
自己株式	△8,755	△21,526
株主資本合計	35,573	25,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	266
為替換算調整勘定	133	98
その他の包括利益累計額合計	243	364
非支配株主持分	201	172
純資産合計	36,018	25,795
負債純資産合計	85,930	69,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	284,994	256,355
売上原価	255,175	227,194
売上総利益	29,818	29,160
販売費及び一般管理費	23,304	23,171
営業利益	6,514	5,989
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	4
持分法による投資利益	—	20
受取保険料	27	18
損害賠償金収入	0	3
その他	39	22
営業外収益合計	72	70
営業外費用		
支払利息	69	33
その他	4	12
営業外費用合計	73	46
経常利益	6,513	6,014
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	—	118
特別利益合計	4	121
特別損失		
固定資産除却損	22	16
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	184	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
特別損失合計	211	16
税金等調整前四半期純利益	6,306	6,119
法人税、住民税及び事業税	2,331	1,971
法人税等調整額	133	106
法人税等合計	2,464	2,077
四半期純利益	3,841	4,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,807	4,003

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,841	4,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	156
為替換算調整勘定	7	△35
その他の包括利益合計	2	121
四半期包括利益	3,844	4,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,810	4,124
非支配株主に係る四半期包括利益	34	37

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,306	6,119
減価償却費	726	774
のれん償却額	860	331
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△410	30
短期解約損失引当金の増減額(△は減少)	△12	△51
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9	△6
受取利息及び受取配当金	△3	△5
支払利息	69	33
持分法による投資損益(△は益)	—	△20
固定資産売却損益(△は益)	△4	△2
固定資産除却損	22	16
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△118
投資有価証券評価損益(△は益)	184	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
売上債権の増減額(△は増加)	13,276	10,431
未収入金の増減額(△は増加)	298	1,043
たな卸資産の増減額(△は増加)	△464	3,061
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,853	△1,239
未払金の増減額(△は減少)	△9	△2,158
その他	433	△269
小計	19,405	17,967
利息及び配当金の受取額	3	13
利息の支払額	△70	△34
法人税等の支払額	△3,110	△2,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,227	14,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△461	△542
有形固定資産の売却による収入	5	2
ソフトウェアの取得による支出	△22	△152
投資有価証券の取得による支出	△0	△8
投資有価証券の売却による収入	—	126
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	2	2
敷金の差入による支出	△50	△157
敷金の回収による収入	188	80
その他	△444	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△785	△728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,439	2,350
長期借入金の返済による支出	△6,018	△4,064
非支配株主からの払込みによる収入	16	—
自己株式の取得による支出	△0	△12,771
配当金の支払額	△1,375	△1,546
非支配株主への配当金の支払額	△62	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,879	△16,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	567	△1,893
現金及び現金同等物の期首残高	2,085	3,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,653	1,420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月22日開催の取締役会決議に基づく自己株式の公開買付けにより、平成28年4月13日付で自己株式13,045,400株を取得いたしました。この結果、第1四半期連結累計期間において自己株式が12,771百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が21,526百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	234,411	13,533	37,050	284,994
セグメント利益 (営業利益)	4,439	1,377	697	6,514

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	213,740	10,416	32,198	256,355
セグメント利益 (営業利益)	4,465	829	694	5,989

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。